

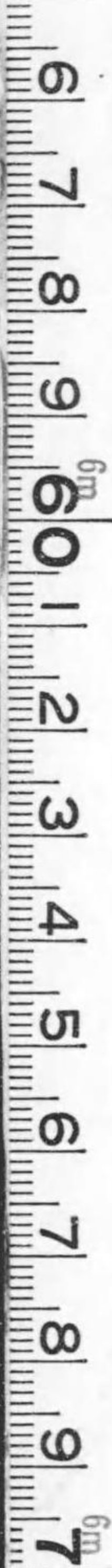
特 258 249

864

619

駭鳥

昭和改訂版
外十



始



3
6

鷺

(梗概) 聖代の帝近侍の臣僚を召し供して神泉苑に夕涼みの御幸ありけるが、折節池の邊りに一羽の白鷺下り立ちて羽翅を清め居けるに、帝殊の外興がらせられ、藏人をして捕へさせよとの宣旨ありければ、勅詔黙止がたく、藏人は恐れ畏みて芦間の陰より覘ひ寄りて捕へんとしければ、心なき飛禽の類ひとて忽ち驚き、羽風を立て、飛立ち揚がり捕へつるも無かりければ、藏人心に誓ふ様、汝鳥類ならも能く聞けよ、普天の下率土の内悉く王地に非ずと言ふことなり、汝も其の天地の内御恩を享くる身なれば勅詔をば負くべきではなきぞと呼び掛り、地は驚は神妙小も立返り羽を垂れて藏人の手に抱き捕へらる。願御酒宴に遷り舞樂をも奏せられけまば、鷺はさも嬉しげに舞樂に連れ御苑内を自由に舞ひ遊び、長へに王威の恩徳ふ浴して雲井遙に翥び去りけると言ふ泰平の瑞兆を褒め讃へたる銘曲なり。



シテ	鷲
子方	帝王
ワキ	藏人
ワキツレ	大臣
立衆	從者數人
輿舁	二人
所	京都神泉苑
季	夏

陸奥

わかき上
立流
一七引
 久堅乃月北都のゆきけき光も君の
立流
 意り如上流 史明君北都代の志る
 万機の政まをほよして四季おと乃
 決つ指とことと 控臨ひさる處もことりや
わかき
 先き陽のまふなれば
立流
 所と北苑

見此清幸 わか 秋は時るの紅葉物

日敷もほめる音の行幸 わか 寒

暑時をたぐへざれば 立荒 清慈乃折也

時をたぐ わか 今も夏そと夕き み

く松乃は才の乃其を誰端あ

通ふん是は妙成清幸とて や 小車の

あ成なるを何とせも何と云并此大内

や神泉苑よるふたり神泉苑よる

あたり 玉サ上 面白や孤鴻そをよのり

波曲よる糖ひ 疎小湖水の波乃上

三子世界八眼のあよそぬ十二因縁を

心乃中よる 実面白き 氣多式

禾^{目上} 滋^一 嘗^一 の 居^一 る 池^一 の 汀^一 は 松^一 立^一 て ぐ^一 部^一
 あ^一 じ 似^一 ぬ 住^一 居^一 も お^一 の つ^一 り 実^一 珠^一 々^一 々^一
 に 面^一 白^一 や 或^一 も 荷^一 弁^一 を 浮^一 へ 又^一 は
 糸^一 竹^一 の 葺^一 あ^一 や を な^一 に 曲^一 水^一 の 手^一 先^一
 底^一 なる 石^一 畳^一 も 浮^一 ぶ な^一 り あ^一 じ 面^一 白^一 乃^一 池^一
 水^一 庭^一 形^一 あ^一 じ お^一 も 一^一 ろ 此^一 池^一 水^一 や 奇^一

王^下 いくに 誰^一 う あり 大^下 居^一 の 水^一 庭^一 乃^一 池^一 水^一 や 奇^一
 王^下 あ の 例^一 亭^一

乃 滋^一 嘗^一 折^一 り 面^一 白^一 乃 池^一 水^一 や 奇^一
 ま^一 と 巾^一 巾^一 大^下 居^一 の 畏^一 々^一 々^一 々^一 々^一 人^一

水^一 庭^一 乃 池^一 水^一 や 奇^一
 白^一 乃 池^一 水^一 や 奇^一
 白^一 乃 池^一 水^一 や 奇^一

水^一 庭^一 乃 池^一 水^一 や 奇^一
 水^一 庭^一 乃 池^一 水^一 や 奇^一

かきく鳥の飛行の翅いりくもせんこと

体くくバ 大鳥上 弓よーやじつんも音の天れ下

卒七此肉も王地ぞと あふんをた

ふまよて 大鳥 次勢くよ あ 聲留れ陰

を 同下 福くひより福らひよつて老るの

陰よりくんとまされは 糸 海路もきり羽風

をちてなつとありれが力なく ウレリ 手をた

ーうー ヤア あまきつ ヤア 歩もよつてなれ

よまけ ヤア 勅定ぞや ヤア 勅定ぞとよまをり

くくま ヤア ばは ヤア 海鳥をゆりて本れ方よとび

ゆり ヤア 羽をよれ地よふせ ヤア じつちんを

龍顔より ヤア 実赤 ヤア ちん ヤア 王佐の ヤア 意

あり難や頼りや坐さく見な人感
あり^{ヤラハ} 実なる佛法王法の習き時乃例
とて^{トリ} 花鳥も土も地も落て處意よ付ふ
酒難や^上 頼り君のは意く
仰ぐんもしやましに^キ 法酒をまゝめて
法人の妓樂を奏し^{ヤラハ} 面々小踏の北苑

人百出されて頼りの清感の飾り友
を^キ びともいもさるもみ佐乃器はもと
嬉しげよ立舞ふや^キ 悲^合 洲^合 崎^合 北^合 踏^合 の
羽を垂て^キ ねもそをふる^キ 氣色り
那^キ 舞^合 習^合 する^合 意^合 も^合 君^合 乃^合 の^合 一^合 四^合
海よりける翅を^キ 靡るぬ方もちりけ

349

619

此は増て多き高貴も王位の恩徳
 有らぬ身ぞ連勅子孫ふけ詔ハ神妙
 く放せや放せとまて富貴自下と
 きとれバ実示をせんめうをふくめて
 放せバ世詔心嬉しく飛上りん嬉しく
 續翻りて行儀も志くばそ成りん侍

昭和十年十月廿五日印刷
 昭和十年十月三十日發行

定價金五拾錢

著者 有所權

東京市下谷區上根岸町八十二番地
 著作者 寶生新

發行兼印刷者 江島伊兵衛

發行所 下掛寶生流談本刊行會

終

19
4

